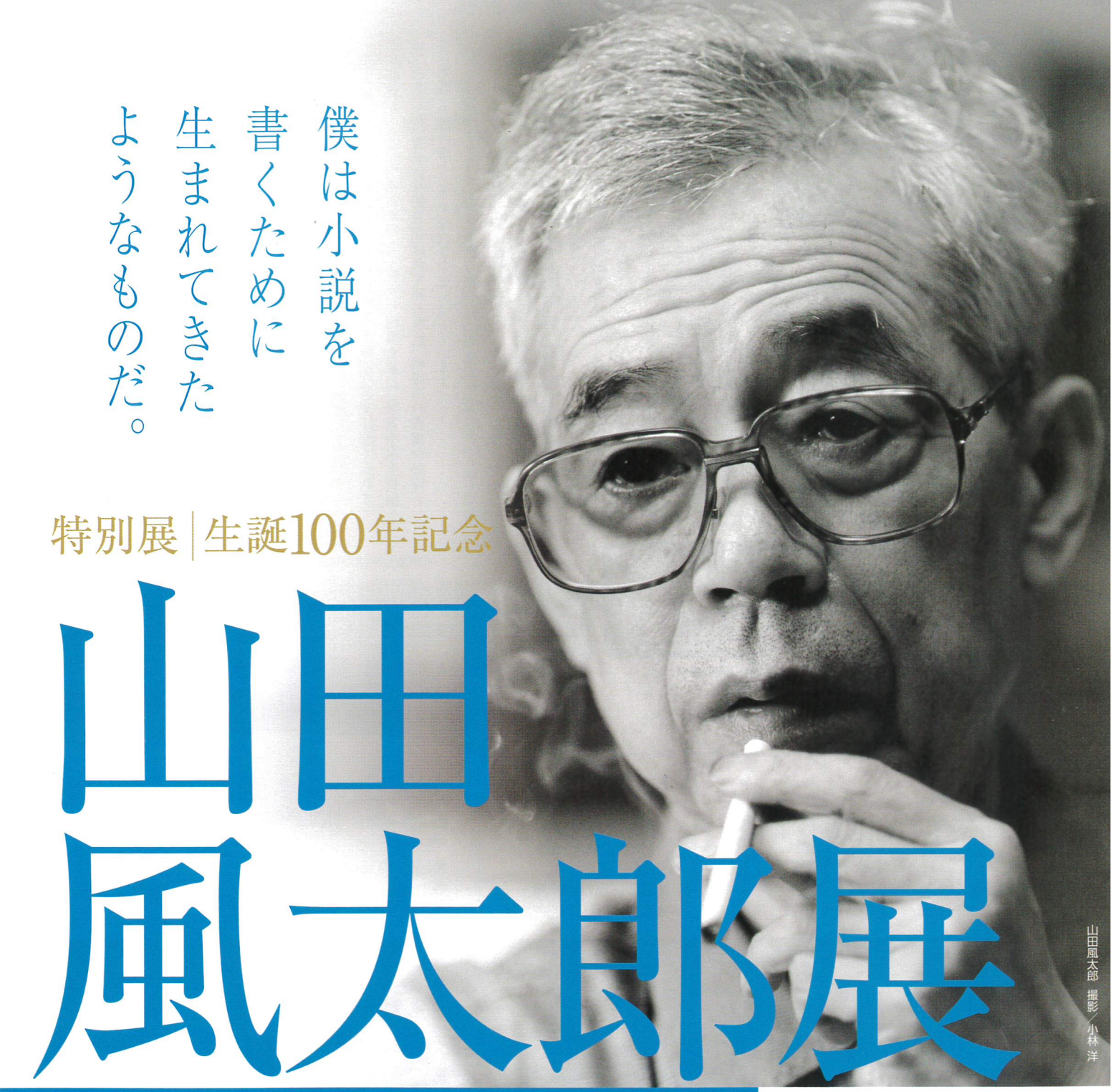


山田風太郎 撮影／小林 洋

僕は小説を
書くために
生まれてきた
ようなものだ。

特別展｜生誕100年記念

山田風太郎展

2022
4/16㊏→6/5㊐

会場／姫路文学館 北館

開館時間／午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日／月曜日 ※5月2日は開館

観覧料／一般700円、大学・高校生400円、中学・小学生200円
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方
（手帳またはミライロID手帳画面を提示してください）及び介護者1人は半額
※20人以上の団体は2割引　※常設展示も観覧可

主　　催／姫路文学館
特別協力／山田風太郎記念館、谷口基（茨城大学教授）
後　　援／朝日新聞姫路支局、NHK神戸放送局、神戸新聞社、産経新聞社、サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西

YAMADA
FUTARO

Exhibition of his life and works in commemoration of the 100th anniversary of his birth

姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
http://www.himejibungakukan.jp/

同時開催「ミステリ作家たちの横顔展 in 姫路」企画：連続講座「佐賀学」&ミステリ作家たちの横顔展実行委員会

人間は生きていく。命の絶えるまで、望みの灯を見つめている——

『戦中派不戦日記』より

兵庫県養父郡関宮村（現・養父市関宮）に生まれた作家、山田風太郎（やまだふうたろう／大正11年～平成13年〔1922—2001〕）。『甲賀忍法帖』『魔界転生』をはじめとする忍法帖シリーズで一世を風靡し、『八犬伝』『人間臨終図巻』『警視庁草紙』など数多くの名作を生み出しました。

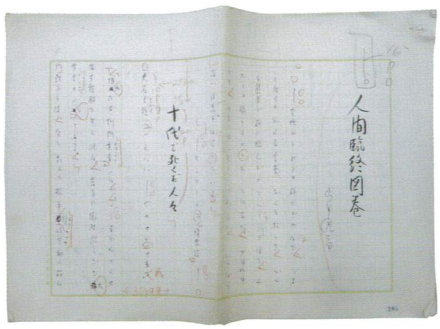
風太郎は早くに父母と死別し、父の医院を継いだ叔父に育てられます。学生時代から受験勉強と並行して膨大な読書を重ね、懸賞小説を投稿しはじめました。青年時代の日記は後年刊行され、戦時中の貴重な記録としての意義と、読み物としての面白さを兼ね備えています。

昭和19年〔1944〕東京医学専門学校（現・東京医科大学）入学、昭和22年〔1947〕推理作家デビュー。江戸川乱歩、高木彬光、横溝正史たちと交友し、卒業後は専業作家として活躍します。中国四大奇書のひとつ「金瓶梅」をミステリに仕立てた『妖異金瓶梅』以降、奔放な小説世界を切り拓き、続々と作品を発表していきます。

卓抜したアイデアと、深い人間へのまなざし。奇想のもとには、歴史風俗、医学知識の蓄えがありました。手がけたジャンルは幅広く、推理小説、伝奇小説、歴史小説、随筆、ノンフィクション、日記と多岐にわたります。その人気は今なお続き、映画、舞台、漫画となって、世界中で愛されています。

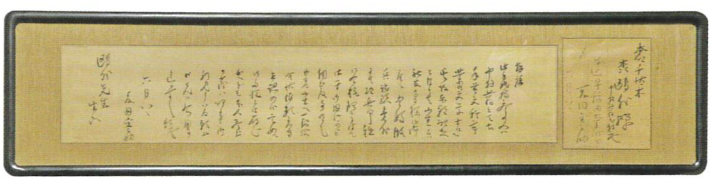
本展覧会は風太郎の生誕百年を記念し、「小説腹案集」や日記、書簡、スケッチ、スクラップブック、愛蔵品を中心に、風太郎の生涯と作品の魅力を辿ります。

医学生時代のスケッチ＊



原稿「人間臨終図巻」＊

＊は、山田風太郎記念館所蔵



愛蔵の夏目漱石 森鷗外宛書簡 個人蔵

「山田風太郎全集」（講談社）全十六巻＊

申込不要 イベント

会場／姫路文学館講堂（北館3階）

記念講演会「風太郎文学の奇想と普遍性」

- 日時／4月16日（土）13時30分～15時（開場：13時）
- 講師／谷口基氏（茨城大学教授）
- 定員／80人 当日先着順

展示解説会

- 日時／5月8日（日）13時30分～15時（開場：13時）
- 講師／当館学芸員
- 定員／80人 当日先着順

朗読会『戦中派虫けら日記』より

山田風太郎は、姫路で徴兵検査を受けた日も克明な日記を残していました。その様子を、学芸員の解説とともに鑑賞します。

- 日時／5月14日（土）13時30分～15時（開場：13時）
- 出演／音訳ボランティアグループ サークルさえずり
- 定員／80人 当日先着順

同時開催

ミステリ作家たちの横顔展 in 姫路

30人のミステリ作家たちの描いた“落描き”が姫路文学館に集結!!

青崎有吾、我孫子武丸、綾辻行人、有栖川有栖、石持浅海、市川憂人、稲羽白菟、乾くるみ、井上雅彦、井上夢人、太田忠司、大山誠一郎、北原尚彦、京極夏彦、櫻田智也、清水朔、斜線堂有紀、竹本健治、千澤のり子、知念実希人、辻真先、辻村深月、法月綸太郎、方丈貴恵、円居挽、麻耶雄嵩、三津田信三、光原百合、皆川博子、宮内悠介（50音順、敬称略）

- 会期／4月16日（土）～6月5日（日）
- 会場／南館さんかくギャラリー ●観覧料／無料

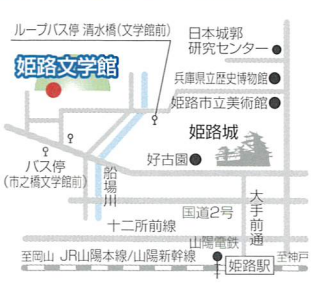
特別開催「ミステリ作家トークショー」 要申込

出演／綾辻行人・有栖川有栖・竹本健治・方丈貴恵

当代を代表する人気ミステリ作家が、山田風太郎の魅力を、「ミステリ作家たちの横顔展」を語り合う!!

- 日時／4月23日（土）14時～16時（開場13時30分）●会場／講堂（北館3階）
- 定員／100人（申込抽選制）※当日は特別展観覧券をご持参ください

トークショー応募方法／往復ハガキもしくは姫路文学館HP申込フォームで、①トークショー希望 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号を明記し、姫路文学館（〒670-0021姫路市山野井町84番地）まで［**4月9日（土）必着**］



姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL.079-293-8228
http://www.himejibungakukan.jp/

アクセス
- JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス9・10・17・18番のりば（一部停車しない系統があります。ご確認ください）で乗車6分「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩4分。6番のりば城周辺観光ループバス乗車10分「清水橋（文学館前）」下車、西へ徒歩3分
- 山陽自動車道姫路東I.C.あるいは姫路西I.C.下車約20分 ●姫路バイパス中地ランプ下車約15分

他館イベントのご案内

國富奎三コレクション（常設展）※月曜日休館
姫路市立美術館 ☎079-222-2288

春季特別展 姉妹都市提携50周年
鳥取の美術工芸と民藝展 4月16日（土）～6月12日（日）
姫路市書写の里 美術工芸館 ☎079-267-0301

QRを読み込んで簡単アクセス
姫路文学館公式アカウントで情報やつぶやきを発信中!

ご来館の際の注意 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用等にご協力ください ●展示会場の混雑を緩和するため、入場規制を行う場合があります ●駐車場の台数には限りがあります。公共交通機関のご利用にご協力ください ●状況により、変更が生じる場合がございます。最新情報を当館ホームページ等でご確認の上、ご来館ください